

大阪府小規模事業者等支援施策評価審議会 議事概要

1. 令和8年3月25日（水曜日）10時00分から正午
2. マイドームおおさか 4階 研修室
3. 議事

(1) 令和7年度 小規模事業経営支援事業の事業変更計画の承認(案)について【審議事項】 (評価委員)

例年のことだが、事業計画を作成する際に経営相談の件数を決めるのは難しい。計画に対して増加した部分については、留保額の範囲内で按分して追加交付していると認識している。配分の割合は年によって変動しているのか。

(事務局)

当初交付決定額からの増減に関する変更申請額も年度によって変動するため、配分割合も変動する。

(評価委員)

事務局案どおり承認する。

(2) 令和8年度 地域活性化事業の採択(案)について【審議事項】 (評価委員)

府施策連携は広域連携事業や単独事業と比較して補助率が高く設定されているが、KPIの達成が必要と認識している。安易にKPIが達成できる連携メニューが申請されていないか。

(事務局)

連携する事業によって難易度の差はあるが、安易な設定ではなく、事業者の行動に繋がられる事業を実施するよう団体には伝えている。最終的なゴールへの到達に時間がかかるテーマについては、周知までになる。

事業計画書の作成においては、担当課と団体の間で打ち合わせを行った上で申請しているので、一定担当課の確認はできている。

(評価委員)

大阪府の各課が府の施策を普及していく目的のために府施策連携を活用していると認識している。補助率などのインセンティブを高くすることで、府施策の普及という目的を達成しようとしていると理解しているが、府施策連携である場合の配点が高い。配点やインセンティブについても工夫が必要な時期に来ていると考える。

(事務局)

事業の練り上げは、過去と比較してレベルアップしている。補助率が高いことで安易に府施策連携事業に流れてしまうことがないよう、配点やインセンティブについて現状のままでもいいかという問いかけや見直しはしていくべきと考えている。

(評価委員)

事務局案どおり承認する。

(3) 令和8年度 商工会等支援事業について 【審議事項】

(評価委員)

共同処理について、参加している者の役割分担はどのようになっているのか。プロジェクトマネージャーがしっかりしないとこの手のプロジェクトは上手くいかない。

(事務局)

商工会連合会が事務局として旗振り役を務めており、プロジェクトマネージャーとして慣れているプロではないため、IT等に詳しい専門家を登用している。大阪府もオブザーバーとして参加している。

(評価委員)

GoogleWorkSpaceは安価で汎用性高く運用できるので良い選択だと思っている。

(事務局)

データ抽出をどのように実施するかを現在検討中である。8年度で検討していきたい。

(評価委員)

事務局案どおり承認する。

(4) 令和8年度 小規模事業経営支援事業の事業計画の承認(案)について 【審議事項】

(評価委員)

今回、約7,800万円の変更申請があったのに、令和8年度の事業計画が前年同割合で申請されているが、各事業の割合を変更した団体はあるのか。

(事務局)

変更した団体もある。例えば、経営相談支援事業については、経営指導員の減少により減額申請した団体や、地域活性化事業に力を入れたいという理由で増額した団体もあった。

(評価委員)

人員減の中で経営相談支援事業の件数が減少するのはどうかと思う。商工会・商工会議所には、地域事業者の相談に対して安定して支援を行っていただきたい。

(事務局)

地域事業者への支援は重要であるが、団体の人員不足は課題であるため、引き続き安定して支援を行う体制の整備に府としても努力する。

(評価委員)

事務局案どおり承認する。

(5) 令和8年度 成長志向事業者活躍促進事業の採択方針(案)について 【審議事項】

(評価委員)

クリエイターにも様々なジャンルがあるので、ジャンルを絞って実施しても良いのではないか。それがスモールビジネスにも繋がる。横の繋がりが無い人も多いので、東京に出ていかれる場合も多い。

(評価委員)

クリエイター活用促進分野、スモールビジネス支援分野共に良いと思う。

(評価委員)

事業の内容は発展的なものになっているのか。

(事務局)

本事業では実践的な部分まで支援することとしており、現在提出されている事業計画書においても、実践的な部分まで支援する内容の事業となっていると考えている。

(評価委員)

事務局案どおり承認する。

(6) 令和8年度 地域活性化事業の変更に係る手続きの取扱いについて 【審議事項】

(評価委員)

成長志向事業者活躍促進事業が採択された場合に、地域活性化事業で予定していた事業分の予算を経営相談支援事業の予算に振り替えるという運用をすると、経営相談支援事業の当初計画よりも予算額が大きくなる。そこはどのように考えているのか。

(評価委員)

地域活性化事業で予定していた事業分の予算すべてを経営相談支援事業に振り替えないといけない訳ではない。各団体の人員状況等も踏まえて、実現可能な範囲で振り替えていただけの制度としている。

また、成長志向事業者活躍促進事業で申請した事業が不採択となった場合でも、地域にとっては実施が必要な事業も存在する。そういった団体が事業を実施できないことにならないように取扱いを変更させていただきたい。

(評価委員)

事務局案どおり承認する。

(7) 令和7年度経営相談支援事業の評価に関するフィードバック(案)について 【審議事項】

(評価委員)

アンケートの対象件数が多い団体の順位は皆知りたいと思うので、公表してもいいのではないか。

(事務局)

アンケートの対象件数が多い団体は平均的なサービス内容になっていると考えている。逆にアンケート対象件数が少ない団体が上位に位置している可能性もある。上位の団体に事例や支援状況等を聞くことには効果があると考えます。

(評価委員)

アンケートの評価は各団体で僅差になっている。非常に高評価な回答と、低評価な回答についてなど、細かいフィードバックができればより良いものになると思う。

(評価委員)

事務局案どおり承認する。

(8) 令和7・8年度 大阪府小規模事業者等支援施策評価審議会スケジュールについて

【報告事項】

(評価委員)

意見なし。